



平成22年12月3日 発行 第54号

国際フィッシングショー2011

Japan Fishing Festival

— イベント決まる —

J A F F委員会（小島忠雄委員長）では、日本最大の「釣りの祭典」として、2011年3月25日より3日間パシフィコ横浜にて開催する『Japan Fishing Festival～国際フィッシングショー 2011～』の準備作業を行っておりますが、決定した主なイベントプログラムをご紹介します。

< 屋外イベント >

1. メーカーシーサイド展示ゾーン

シーサイドラインの岸壁部に釣用品の体験ゾーンとしてメーカーエリアを新設

2. ボートフィッシングコーナー

ボートやカヤックなどの舟艇を取り扱う企業が出展し、ボートフィッシングの魅力を紹介

3. キャンピングカー展示体験会

アウトドアライフが楽しめるキャンピングカー20数台が大集合

4. 横浜市の朝市フェスティバル

お魚グルメパークとして例年人気を博したコーナーが、スケールアップで屋外会場に登場

5. ベロタクシー・ステーション

エコなタクシーとして横浜の観光名物となったベロタクシーが、会場内に乗降ステーションを設置

6. 釣りはじめてクン広場

- ①ホンモノのマス釣り大会(有料: 1回500円)
- ②釣りはじめて親子のためのカンタン釣り塾
- ③「どじょう」つかみ取り天国、金魚すくい・ザリガニ釣り(有料: 各1回200円)
- ④ビッグな「ふあふあ」大集合!

CONTENTS

・「フィッシングフェスティバル」	
イベント決まる!.....	P 1
・ワーム「環境協力シール」&ポスター.....	P 3
・フロロカーボン糸のJ A F S規格制定.....	P 4
・会員クローズアップNO. 8.....	P 5
・釣具の輸出入推移表.....	P 6
・理事会・委員会報告.....	P 7
・会員動向.....	P 8

< 屋内イベント >

1. **女性アングラ集合**
人気女性アングラたちが、女性ならではの視点でガールズトークを展開、合同記念写真撮影会
2. **The Meijin のデモンストレーションショー**
憧れのプロによるトークやキャスティングの実演、質問コーナー
3. **第6回クールアングラズ・アワード**
釣り好きの俳優やタレント、文化人を対象としたアワードで、受賞者表彰式をステージで公開
4. **フライフィッシングゾーン**
人気メーカーの出展の他、フライ名人による、タイイングデモ、キャスティングデモなど実演
5. **アングラズアイドル2011**
釣り業界のアイドル第2代目を募集。WEBで応募受付し、1次審査通過者20名によるWEB人気投票（2次審査）5名決定。会場ステージにて最終公開審査会実施
6. **出展社プレゼンステージ**
ブース内展示だけでは紹介しきれない商品の魅力を新たに設置されたサブステージ上でPR
7. **ヨコハマ・グッズ横濱001（第14期認定商品発表会）**
2年に一度の審査会で横浜ブランドとして認定された商品ヨコハマ・グッズ001（第14期認定商品発表会）を会場内にて開催。
8. **アングラのためのエコロジー標語大募集**
選考委員会にて審査の上、大賞と優秀作品をステージにて表彰
9. **その他好評イベント**
 - ①ワクワク！ウキウキ！大抽選会
 - ②魚拓コーナー
 - ③伝統工芸コーナー
 - ④水族館の人気おみやげ大集合



2011年もアングラズアイドル募集します

ワーム「環境協力シール」&ポスターについて

今年の1月から“ワームメーカー（日釣工会員以外のメーカー含む）”が一堂に会して「ワーム環境対策検討会議」を立上げ、数回の会議を重ね、いよいよ来年（平成23年1月）よりワームのパックに「環境協力シール」（下記シール参照）が貼付された製品が、早ければ小売店の店頭に並ぶ事になると思います。

このワームの「環境協力シール」の目的についてここでもう一度整理しておきます。

永年、釣り人が釣り場（湖底・海底）に釣用ワームを止むを得ず残し、環境に負荷を掛けてきております。この様な釣り場を少しでも改善し、釣り場を継続的に維持するには、残された釣用ワームを除去する「湖底・海底清掃」を実施する必要があります。

その費用を捻出する為に「環境協力シール」の貼付を開始します。つまり、このシールが貼付されたワームを購入することにより、消費者には“環境保全に協力して頂く”こととなります。

来年の1月の開始に向けて消費者の皆様に対するの告知として「ワーム環境協力ポスター」（下記参照）を作成しました。メーカー・問屋様（及び小売店様）経由で、全国の小売店様の店頭はこのポスターを掲示して頂きたいと思っております。



ワーム「環境協力シール」

このポスターのデザインは業界では有名な“八百板氏”にお願いしました。

日釣工HPからプリントすることも可能となっておりますので是非ご利用いただきたいと思っております。

このワームの「環境協力シール」について、メーカー様を初め量販店様及び小売店様の絶大なるご協力とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

We need

私たちは考えます
美しいフィールドを守るために
未来に釣り場を残すために!!

**環境美化
ECO
協力商品**

このマークが付いている商品をお買い求めください(2011年より)
あなたの協力で清掃活動が行われます

Your help
<http://www.jaftma.or.jp/worm/worm.html>
JAFTMA 日本釣用品工業会

フロロカーボン糸のJAFS規格（標準直径）制定される

当工業会では、規格・安全委員会（藤井治幸委員長）を中心に「製品の業界基準（標準）統一」の積極的推進を図るため、JAFS規格（団体規格）管理規程の見直し作業をおこなっております。

釣糸の業界標準においては、これまで、「フロロカーボン糸の標準直径は、ナイロン糸に準ずる」としてきましたが、同委員会より委嘱されました釣糸部会にて協議した結果、この度、同糸の標準規格を決定し、同委員会に上程し機関決定されました。

JAFS-D10111001

制定：平成22年9月16日

ナイロン糸・フロロカーボン糸の標準直径

1. ナイロン糸・フロロカーボン糸の太さ標準規格は、別表1を標準直径とする。
2. ナイロン糸・フロロカーボン糸の許容範囲は、上限・下限の直径が、前後の号柄の標準直径を追い越さないものとする。
3. 強度等に関しては、各企業の裁量に委ねる。

別表1

号柄		標準直径		号柄		標準直径	
0.1	—	0.053	mm	8	—	0.470	mm
0.15	—	0.064		10	—	0.520	
0.2	—	0.074		12	—	0.570	
0.25	—	0.083		14	—	0.620	
0.3	—	0.090		16	—	0.660	
0.35	—	0.097		18	—	0.700	
0.4	—	0.104		20	—	0.740	
0.5	—	0.117		22	—	0.780	
0.6	—	0.128		24	—	0.810	
0.8	—	0.148		26	—	0.840	
1	—	0.165		28	—	0.870	
1.2	—	0.185		30	—	0.910	
1.5	—	0.205		40	—	1.050	
1.75	—	0.220		50	—	1.170	
2	—	0.235		60	—	1.280	
2.25	—	0.248		70	—	1.390	
2.5	—	0.260		80	—	1.480	
2.75	—	0.274		90	—	1.570	
3	—	0.285		100	—	1.660	
3.5	—	0.310		110	—	1.740	
4	—	0.330		120	—	1.810	
5	—	0.370		150	—	2.030	
6	—	0.405		200	—	2.340	
7	—	0.435					

株式会社ささめ針

代表取締役社長 篠倉 庸 良様

会員クローズアップ NO. 8



第8回目となる今回は、絡まない仕掛けのヒットとともに次々とブランドを立ち上げ国内外に事業展開されております株式会社ささめ針様のご紹介です。また、9月には新社屋が竣工され益々の躍進が期待されております。



本社：兵庫県丹波市山南町奥 5 7 3 - 1 TEL 0795-77-0212
 URL：http://www.sasame.co.jp/

会社の沿革・概要

同社は昭和21年、篠倉保三商店として創業しました。釣針、釣仕掛けに絞込み独自の発想と技術で歩んで参りました。投釣仕掛けの枝針部分にビニールパイプを装着した「絡まない仕掛け」が爆発的なヒットをし、投げの「ささめ」として業界内に地位を築きました。昭和56年に法人化、昭和60年に本社事務所・倉庫を新設。



この頃より生産の拠点を徐々に海外に移して参りました。平成4年に中国大連で生産を開始し、現在大連、タイに現地法人を有しベトナムにも生産拠点があります。平成5年の倉庫建設に続き、本年度には本社横に新社屋を建設し働きやすい環境を整えると同時に、多様化する釣り人のニーズ、管理・物流に対応しています。

会社のトピックス

同社は主に釣仕掛け類、特に投釣仕掛けを得意とするメーカーとして認識されてきましたが、2000年に発売を開始したボウズのがれシリーズが大ヒットし、以降ソルトルアーブランド「シャウト」磯関連「ヤイバ」ブラックバスブランド「リューギ」など市場にマッチしたカテゴリーブランドを次々立ち上げ、様々な釣り分野へ挑戦を続けています。海外販売に関しても欧州、アジアを中心に30カ国を超える国、地域において代理店を有し販売を行っております。

社長の一言

弊社の特徴は若い社員に権限を与え、製品の企画開発、社内業務に関しても自由闊達な議論が出来る社風を目指しています。全国の市場のニーズを素早く製品に反映出来るよう企画・開発を営業担当者主導で進め、生産は別会社「㈱ささめトレーディング」にて高い品質の維持、リードタイムの短縮化を図っています。社員が元気で明るく能力を存分に発揮できる環境作りに積極的に取り組んでいます。



釣具の輸出入推移表(財務省通関統計より)

輸出高(金額 FOB、千円)

年 (暦 年)		2008 (平成20年1月~6月)				2009 (平成21年1月~6月)				2010 (平成22年1月~6月)			
品 目 名	数量単位	数 量	伸び率	金 額	伸び率	数 量	伸び率	金 額	伸び率	数 量	伸び率	金 額	伸び率
釣 竿	pcs	6,520,145	8.7%	2,115,537	17.8%	3,122,192	▲52.1%	1,335,965	▲36.8%	4,690,694	50.2%	1,581,291	18.4%
釣 針	千GS	6,529	27.1%	1,995,638	8.2%	5,365	▲17.8%	1,976,439	▲1.0%	5,908	10.1%	2,012,112	1.8%
擬餌針	GS	149,054	▲47.9%	1,275,130	▲10.4%	74,747	▲49.9%	946,670	▲25.8%	109,273	46.2%	1,171,211	23.7%
釣用リール	pcs	5,629,190	3.7%	3,509,106	▲20.1%	3,151,069	▲44.0%	2,422,510	▲31.0%	2,719,520	▲13.7%	2,768,648	14.3%
その他 (たも網、捕虫網、および狩猟用具類)	—	—	—	2,599,387	7.0%	—	—	1,954,688	▲24.8%	—	—	2,110,030	7.9%
輸 出 高		—	—	11,494,798	▲3.3%	—	—	8,636,272	▲24.9%	—	—	9,643,292	11.7%

輸入高(金額 CIF、千円)

年 (暦 年)		2008 (平成20年1月~6月)				2009 (平成21年1月~6月)				2010 (平成22年1月~6月)			
品 目 名	数量単位	数 量	伸び率	金 額	伸び率	数 量	伸び率	金 額	伸び率	数 量	伸び率	金 額	伸び率
釣 竿(部品を含む。)	pcs	2,766,002	△ 0	6,236,324	▲0.5%	2,667,604	▲3.6%	5,538,078	▲11.2%	3,061,711	14.8%	5,512,081	▲0.5%
釣 針	千GS	20,180	117.0%	1,408,326	9.2%	21,344	5.8%	1,523,159	8.2%	38,747	81.5%	1,083,401	▲28.9%
釣用リール	pcs	3,077,697	△ 0	3,190,569	13.9%	2,766,162	▲10.1%	2,664,119	▲16.5%	2,932,064	6.0%	2,489,245	▲6.6%
その他のもの	—	—	—	3,832,152	▲2.0%	—	—	4,234,929	10.5%	—	—	4,497,319	6.2%
輸 入 高		—	—	14,667,371	2.8%	—	—	13,960,285	▲4.8%	—	—	13,582,046	▲2.7%

理事会及び各委員会活動のご報告

< 第96回 理事会 報告 >

去る、平成22年9月16日(木)に、日本フィッシング会館8階会議室において、「第96回理事会」が開催されました。

理事会では、定例報告されている「各委員会の進捗状況報告」を最初に行い、各委員長より議事録に基きその進捗状況について報告されました。「JAFF委員会」では“出展申込状況”は前年比減の厳しい状況の報告があり、「規格・安全委員会」の報告では“釣糸部会”から提案されたJAFS管理規程に新たに規程化する“ナイロン糸・フロロカーボン糸の標準直径”及び“釣用品の安全表示に関するガイドライン”に追加する商品(バッグ類)について報告がありました。

次に第2号議案：“ワーム環境対策会議の進捗”について報告があり、来年1月スタートに向けて準備状況の詳細報告がなされた。(詳細内容については、P3を参照して下さい)

第3号議案から第5号議案は報告事項であり問題なく承認されました。

第6号議案の「日釣工“給与規程”改定について」の議案は、問題なく承認され、その他の報告承認事項も特になかった為、若干予定より早く理事会は無事終了しました。

< 各委員会報告 >

- ① 「JAFF委員会」(旧「JISPO委員会」：フィッシングショーを検討する委員会)
 - ・ 上記の理事会報告でも若干触れましたが、出展申込状況が、現時点では前年比若干の遅れがありますが、今後更に事務局で過去に出展された企業様等へ鋭意アプローチして出展増加を図ってまいります。
 - ・ 今年度のフィッシングショーは特に“屋外を使ってのイベントを開催する”ことで“フェスティバル”の企画内容となっております。当然ですが、コアな釣り人ファンに向けての企画も従来にも増して充実した内容となっております。
- ② 「環境保全委員会」
 - ・ この委員会の活動の一つである「eマーク事業」について、その認定基準についての見直し作業及び新規商品の認定基準についての検討を行っております。
 - ・ 各部会(釣糸部会・釣用リール部会等)の環境活動に関する活動状況についても報告されました。
- ③ 「規格・安全委員会」
 - ・ 「釣糸部会」から提案があった“JAFS規程”の新規追加が報告・承認されました。
 - ・ 「バッグ類」の安全表示ガイドラインへの追加が報告・承認されました。
 - ・ 「膨張式ライフジャケット」の講習会を、大阪・横浜両会場で開催する案で検討していることが報告されました。
- ④ 「広報・調査委員会」
 - ・ 「第14回釣用品の国内需要動向調査」を実施するに向けて、調査票の内容及び、回収率をアップさせる為に各種対策について検討した事が報告されました。
 - ・ 調査内容について、新たに“トレンド調査”と題して「一つテンヤ」及び「ワカサギ」を追加して調査する事が承認されました。

会 員 動 向

※第96回理事会で次のとおり入会2社が承認されました。

入会会員

- ◆カハラジャパン(株) 代表者・加藤一彦
〒289-2504 千葉県旭市ニ 2633-1 TEL0479-74-8170 Fax0479-74-8171
- ◆山田電器工業(株) 代表者・山田耕次郎
〒270-2214 千葉県松戸市松飛台 516 TEL047-385-2111 Fax047-385-2128

※会員企業組織の変更

- ◆東レインターナショナルは(株)下記へ移転しました。
〒541-0048 大阪府大阪市中央区瓦町 2-5-7 一村産業ビル 3F
TEL06-6229-8718 Fax06-6229-8709
- ◆(有)エアーズムの FAX 番号が次のとおり変更しました。Fax011-826-4990

☆☆☆☆☆☆ 事務局 だ よ り ☆☆☆☆☆☆

- ◇ 今年の夏は非常に暑く、地球温暖化の影響で
しょうか異常な気象状況が続き、各地で釣れる
魚の変化がじわじわと襲ってきております。
- ◇ 「ワーム環境協力シール」を貼付した商品が、
来年 1 月メーカー出荷分から開始されます。
又、関連したポスターも配布されますので、メ
ーカ様及び小売店様のご協力を宜しくお願
いします。
- ◇ 日釣工の事務局に、11 月から新人が入ってき
ました。
- ◇ この度「新公益法人制度」が改正され、平成
25 年までに「公益法人」か「一般法人」にな
るか選択することになっており、当工業会は
「一般法人」に向けて申請資料作成に入ってお
ります。
- ◇ 来年のフィッシングショーはネーミングも新
たに「ジャパンフィッシングフェスティバル」
に変更され、場所及びイベント内容等も変わり
ネーミングに相応しいフィッシングショーに
生まれ変わります。ご期待下さい。
- ◇ 「第14回釣用品国内需要動向調査報告書」
のまとめに入っており、来年1月にはお手許に
届けられる予定です。
- ◇ 児童・青少年向けの“釣り入門冊子”の
「すきすきフィッシング」が内容変更され
来年には新たに増刷されます。
釣り大会・釣り教室等のイベントにご活用
下さい。

あんどうしげのぶ
「安藤栄信」(参与)
と言います。
今後とも宜しくお願い
致します。



JAF TMA
JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION
社団法人日本釣用品工業会
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-22-8 日本フィッシング会館
TEL 03(3555)0101(代表) FAX 03(5542)2929